

## 第27回ペスタロッシー教育賞 受賞者紹介

受賞者： 広島市教育委員会 主事／広島市立二葉中学校 前校長 和田 晋（わだ すすむ）

### 【略歴】

1956年に出雲市に生まれ、広島大学教育学部へと進学し、当時の教育研究室にて大谷光長教授および藤井敏彦教授からケルシェンシュタイナー教育とマカレンコ教育の最先端に触れるとともに、長田新教授の著作・翻訳を通じてペスタロッシーの教育と出会う。1982年に広島大学大学院学校教育研究科修士課程を修了し、広島市内の公立中学校に国語科教員として着任する。校内暴力の嵐が吹き荒れ、貧困を背景とした子どもたちの荒れが学校において噴出していた着任当時の生徒を目の当たりにした和田氏は、1988年から広島市内繁華街を中心に夜回りを始め、2003年からは広島市教育委員会にて暴走族対策と少年自立支援を担当することとなった。2008年には広島市立可部中学校教頭として学校現場に復帰し、2010年からの広島市立亀崎中学校校長を経て、2013年から2017年までの四年間に亘って広島市立二葉中学校の校長を務めた。校長退任後は広島市教育委員会教育センターに勤務している。

### 【受賞理由】

和田氏は30年以上に亘って、学校の教師として子どもたちの教育にあたりながら、夜回りを通じて居場所のない子どもたちにペスタロッシーの精神で根気強く声をかけ続け、子どもたちの声に耳を傾けてきた。今回はこの長年の活動が評価されての受賞となった。

広島市内繁華街を中心とした夜回りで出会う子どもたちは、貧しい家庭環境に育ち、周囲の誰からも愛されることのない子どもたちであった。この子どもたちにペスタロッシーの愛の精神でぶつかっていった和田氏は、家庭訪問を繰り返し、深夜の夜回りに出かけては、暴力団から抜け出させることもたびたびであった。

校長として着任した二葉中学校区は「こども療育センター」をはじめとする福祉施設や児童養護施設をかかえ、多様な背景や課題のある子どもたちが通学している。和田氏は、二葉のFを頭文字とする3F（Family, Friendly, Future）をスローガンとして、過去を振り返るのではなく未来に向かうチャレンジを家族のような絆を軸に実現していく理念を、教職員だけではなく生徒および保護者とも共有しながら学校経営にあたった。4年間の校長としての取組は、居場所を失って深夜の街を徘徊する子どもたちに声をかける夜回りと同様に、学校や教室を飛び出す生徒たちに「ゆっくり」「じっくり」声をかける教職員との取組へと通じるペスタロッシーの精神に根ざした実践であった。

居場所を失い徘徊する子どもたちに、過ちやつらい記憶とともにある過去を見つめさせるのではなく、あたたかいまなざしのもとで未来へと励まし続けた和田氏の取り組みは、困難な状況に置かれた子どもたちに愛の精神でまなざしをかけ、人間学校の探究のもとで人間を人間にする教育を実践してきたペスタロッシーの精神に通じるものである。今日の地域の場合及び学校教育の場における和田氏の長年に渡る地道な実践に対し、第27回ペスタロッシー教育賞を贈り、その功績を称えたい。